

Part 1

ぜん息とは どんな病気？

キーワード ● 症状 / どのような病気か



ぜん息発作のときは、
どのような症状になりますか？



代表的な症状は「ゼーゼー」「ヒューヒュー」というぜん鳴と息苦しさです。

息をはくときに出る「ゼーゼー」「ヒューヒュー」というぜん鳴が、ぜん息の代表的な症状です。ぜん鳴は、狭くなった気道を空気が通るために起こり、ひどくなると息ができなくなり呼吸困難を起こします。この状態をぜん息発作といいます。息を吸うときにのどや肋骨の間がへこむ「かんぼつ陥没呼吸」や、肩を上下させていっしょうけんめいに呼吸をする「肩呼吸」も見られます。

このほか、せきが続いたり、たんが増えたり、体を動かしたときに息切れがしたりしますが、軽い場合には発作と気がつかないこともあります。ひどくなると、苦しいために横になれず、座って呼吸をする方が楽になります（きざ起坐呼吸）。ぜん息発作は、夜間や早朝に出やすい傾向があります。

ぜん鳴

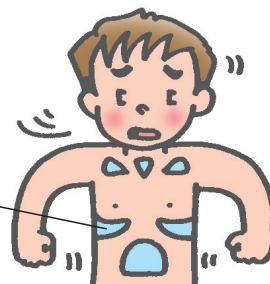
息をはくときに「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という音が聞こえることがあります（乳児の場合はゼロゼロということがあります）。



陥没呼吸

息を吸うときに、のどやろっ骨の間がへこみます。

色がついている部分がへこむ



肩呼吸

肩を上下させながら、いっしょうけんめいに呼吸をします。



起坐呼吸

息が苦しいために横になることができず、座ったり前かがみになる状態をいいます。

